

# 第11回ジャイアンツカップ



日本リトルシニア中学硬式野球協会



◇8月14、19日◇東京ドーム  
 ほか◇関東連盟5チームほか  
 佐倉が3年ぶりの2度目の優勝  
 を果たした。小山ポイズとの  
 決勝では、2点リードされた6  
 回に主将西川僚祐の同点本塁打の後、3安打3  
 四死球でこの回6点を挙げて逆転。中学硬式野  
 球の全国各リーグが参加する予選を勝ち抜いた  
 大会(07年以降)で、14年以來の「日本一」と  
 なった。浦和が3位に食い込んだ。

## 佐倉3年ぶり2度目V

**悲願「真の日本一」**  
 価値ある優勝を手にし  
 た。小山ポイズとの決勝  
 で、佐倉は1-3の劣勢で  
 終盤6回、安打で出た高田  
 海斗を置いて、5番の西川  
 が右翼席に豪快な2点本塁  
 打を放って追い付く。相手  
 の乱れもあって、3安打に



3四死球を絡めて6点を挙  
 げて逆転。エース諸隈惟大  
 (いっと)が最後を締めた。  
 各リーグが集まるこの大  
 会を中学硬式野球の「真の  
 日本一」という松井進監督  
 は「各投手が役割を果たし、  
 決勝での諸隈の好投につな

## 水戸「あと1本」出ず準優勝

第6回東日本選抜大会  
 大会だった、勝ち進んで  
 いくうちに今まで以上に団  
 結するメンバーができた。優勝

3年ぶりの2度目の優勝を果たした  
 佐倉。前列中央は巨人・高橋由伸  
 監督。優勝トロフィーを受ける  
 佐倉・西川主将(右)



▽決勝 倉73 小山ポイズ  
 3-0  
 浦和 倉63 浦和 和  
 小山ポイズ 4-2 岐阜東ポイズ  
 3-2 鷹ノ巣ポイズ  
 浦和 倉3-1 浦和ポイズ  
 和74 神戸中央  
 小山ポイズ 9-0 福岡東ポイズ  
 岐阜東ポイズ 3-2 鷹ノ巣ポイズ

がった。打線も下位が粘っ  
 てつなげ、度会、角田、西  
 川の本塁打が出て流れと勢  
 いを引き寄せた」と、振り  
 返るチーム全体の勝利だっ  
 た。  
 1回戦では諸隈がノーヒ  
 ットノーランを達成し、度  
 会隆輝が本塁打。2回戦で  
 は角田勇斗が貴重な同点本  
 塁打。そして決勝での西川。  
 投手陣も藤田修、菊地レハ  
 ン、四十住(あいずみ)皇  
 輝らが継投で踏ん張り、投  
 打がかみ合った。日本選手  
 権決勝では世田谷西に1点  
 差で敗れたが、この大会で  
 有終の美を飾った。



3位に入った浦和

間に声を掛け合った。最後  
 まであきらめない、粘り強  
 い佐倉の野球が出来た。入  
 団した1年生の時から「ジ  
 ャイアンツカップ優勝」を  
 目指してきた」と、念願達  
 成に笑顔を見せていた。  
**投打がかみ合わず**  
 調音 リトルシニア同土  
 の対戦となった1回戦で、  
 武蔵府中に2点を奪われて  
 敗れた。安羅岡一樹監督は  
 「前半は投打がかみ合い有  
 利に試合を運べたが、投手  
 の中村を中心に守りで勝ち  
 上がったチームなので  
 エラーや配球ミスの失点を  
 カバーできなかった」と振  
 り返った。吉沢悠佑主将は  
 「全国の強豪チームと対戦  
 することを楽しみに大会に  
 挑みましたが、投打がかみ  
 合わなかった」と、悔しさ  
 をにじませた。

## 天井消える不運

浦和 準決勝で佐倉に惜  
 敗し、3位となった。1回  
 中に中井大我の犠飛で先制し  
 たが、その後逆転を許した。  
 3-4の7回表、佐倉の打  
 球が東京ドーム天井に消え  
 る不運な安打で追加点を与  
 えて力尽きた。品田聡一監  
 督は「自分たちの楽しい野  
 球が充分に出来たと思う。  
 笑顔でプレーしている時が  
 一番力を発揮出来ることを  
 再確認した」と褒めた。廣  
 瀬智也主将も「日本選手権  
 で悔しい思いをしたので、  
 全員が同じ方向を向けた。  
 高校でもこれ以上の成績を  
 残せるように頑張っていき  
 たい」と、今後に自信を持  
 った様子だった。

## 特別継続試合敗退

福岡 2回戦で浦和  
 ポイズの打棒に屈した。  
 2回0-2で雨のため特別  
 継続試合となり、2日後に  
 再開してエース山村崇嘉を  
 投入したが、本来の力を出  
 せず1-9で敗退。小泉隆  
 幸監督は「これまで経験し  
 たことのない負け方を喫  
 し、残念な結果だったが、  
 出場したことを誇りに今後  
 も頑張ってもらいたい」と  
 エールを送った。田村大斗  
 主将は「あっという間に終  
 わったという感じで、野球  
 の怖さを知った思いです」と  
 とあらためて教訓を得た。

## 初の全国も手応え

富士河口湖 初出場で1  
 回戦南国ヤングマリナーズ  
 に3-4と惜敗した。小池  
 優平監督は「あと1点、も  
 う1点という場面で攻めき  
 れなかった。初の全国とい  
 う舞台で堂々と戦えた。次  
 に出場する時は1勝という  
 忘れ物をまず取りにきたい  
 と思う」と話した。志村佳  
 樹主将は「全員の1球1球  
 に注ぐ気持ちだが、最後の攻  
 撃に出ていて最高のゲーム  
 だった」と胸を張った。



浦原(手前)